

7月22日  
市長選

# セクハラ・パワハラなくし 人権と暮らしをまもる市政へ



司会をする池座俊子  
さん（狛江・生活者  
ネットワーク代表）



経過説明をする周東三  
和子・「ともに狛江 市民の会」代表



市長選出馬への決意を語る田中とも子さん



周東三和子代表や田中とも子市議とともに記者会見  
に臨む超党派の各市議と市民（2日、市役所内）

## 田中とも子

さんが  
市長選

## 出馬表明

高橋前市長のセクハラ問題を追及してきた6人の女性議員有志の中から

都議4年  
市議11年

### 田中とも子のプロフィール

1957年山形県生まれ。國學院大學文学部卒業。1997年から日本共産党の都議会議員（1期）。2007年から狛江市議会議員（3期目）。この間、市議会副議長、社会常任委員長など歴任。

保育園父母会長、中学校PTA役員歴任。趣味は映画鑑賞、生け花（師範）。家族は夫と三女。西和泉2丁目在住。

会見には生活者ネットの山本暁子、社民党の市原広子、日本共産党の西村あつ子、宮坂良子、岡村しん、鈴木えつおの各市議、狛江・生活者ネットの池座俊子代表が同席、セクハラ問題を追及してきた市民も参加しました。

高橋前市長が女性職員へのセクハラ行為で辞職したことに伴う市長選挙（15日告示、22日投票）で、前市長のセクハラ問題を追及してきた超党派の市議や個人、団体でつくる「ともに狛江 市民の会」（周東三和子代表）が2日、市役所内で記者会見を開き、日本共産党市議の田中とも子（智子）氏（60）を無所属で擁立することを明らかにしました。会には社民党や生活者ネットなど各政党・会派に推薦・支援をよびかけ、共産党は推薦を決めています。

「記者会見で田中氏は「前市長のセクハラ行為で行政への信頼が失墜した。市長選挙は何よりもまず、市政への信頼をとりもどす選挙。ハラスメントをなくし、職員や市民の人権を守られ、安心して働き住み続けられるまちをめざしたい」と強調しました。さらに、格差と貧困が広がる中で「自治体の本来の役割である住民の命と暮らしを守る仕事を、市政の中心に据えてとりくみたい。前市政で弱まった情報公開や市民参加・協働をとり戻したい」と表明、「多くの市民が狛江に愛着をもっている。多くの方々が『狛江をよくしたい』の思いで、考えの違いはあっても、話し合い、力を合わせてきた。こうした市民の力に依拠して『ともに支えつくる』、我々が狛江（狛江市歌）に示された未来に向かって全力で頑張る決意です」と述べました。

会の周東三和子代表は、前市長のセクハラ問題を追及してきた市民運動を基礎に、田中氏を擁立した経過を紹介しました。

### ともに狛江 市民の会

2018年7月号外「ともに狛江 市民の会」は見解を発表しました。

発行：ともに狛江 市民の会 / 東和泉 2-20-12 電話：3480-6794 fax：3488-3981



# 人権と暮らしを守る 私の基本政策

市長予定候補（無所属）

たなか 智子

# 田中とも子

With You



## 1 セクハラ・パワハラなど、すべてのハラスメントをなくします。 全ての職員・市民の人権が守られ自分らしく生きられるまち・狛江をつくります。

前市長のセクハラ問題について、被害者の人権とプライバシーを守ることを大前提に、弁護士など専門家による第三者委員会を立ち上げ、この問題の全経過と教訓を明らかにし、しっかりとした再発防止策を市民参加で確立します。そのため全職員向けの無記名のアンケート調査を行うなど、当事者の思いを受け止め再発防止策に生かします。

「ハラスメントのないまちづくり」「差別のないまちづくり」を最優先に、市民とともにとりくみ、すべての市民・職員の人権が守られ男女共同参画が息づく市政をつくります。

## 2 子どもの権利条例を制定、待機児の解消、ひとり親家庭への支援 高齢者・障がい者、だれもが安心して暮らせるまち・狛江をつくります。

子どもの権利条例を制定、保育園や学童クラブの待機児を解消、貧困と格差の是正とひとり親家庭への支援をすすめ、子ども達一人ひとりが大切にされるまちをつくります。

高齢者・障がい者や生きづらさをかかえた市民など、だれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめます。公的責任を重視し、安心できる地域包括ケア実現へ全庁的とりくみを推進、認知症の早期発見・早期治療、シルバー相談室の増設、介護保険や国民健康保険の負担軽減、低所得者も入れる特養ホームの増設をすすめます。滞納者への強権的な徴税をやめ、親切で丁寧、人権に配慮した納税相談に転換します。



## 3 災害死者ゼロへ、住宅の耐震化など安心安全のまちづくりをすすめます。 環境の保全、再生可能エネルギーの利用を促進します。

予想される大震災に備え、ブロック塀の総点検と改修、住宅の耐震化助成の拡充、防災行政無線の戸別受信機貸出、家具転倒防止器具設置助成、防災リーダーの養成をすすめます。信号機の設置促進など交通安全対策を強化します。原発に頼らない地域社会へ、再生可能エネルギーの利用促進、地球温暖化防止と環境保全のまちづくりをすすめます。



## 4 中央図書館・公民館を抜本的に充実します。 市民文化・市民活動、産業の振興で活気あるまちづくりをすすめます。

「市民センターを考える市民の会」の提案内容を生かし、市民センターの増改築で、中央図書館・公民館を抜本的に拡充、社会教育施設としての役割を発揮できるようにします。有料化された市役所駐車場の公民館利用者への3時間無料制度をつくります。

地域産業振興条例や公契約条例を市民・関係者の声を大切にしながら制定します。専門家による個々の店へのきめ細かな支援や住宅リフォーム・店舗リニューアル助成、和泉多摩川駅周辺の活性化、市民農園・体験農園の拡大、援農ボランティア制度などをすすめます。



## 5 情報公開、市民参加・協働を広げ、市民が主人公のまちづくり。 市の財政運営は、市民要望の実現と財政改善を両立させてすすめます。

前市政で後退した情報公開や市民参加・協働をとりもどします。和泉多摩川緑地の都立公園化は、住民の合意と納得を大前提とします。和泉多摩川駅近くのぼかぼか広場をめぐる裁判では、市として過去の石井市政時代のまちづくりの誤りを認め住民に謝罪し、合意と納得のまちづくりに転換します。

## 6 憲法を守り暮らしに生かします。狛江市平和都市宣言を生かし、非核・平和、原発ゼロを発信するまち・狛江を市民と一緒にすすめます。